

## 令和4年度第1回上下水道審議会

日 時 令和5年2月8日(水) 10:00～

場 所 香美市北庁舎2階会議室

出席者 田中委員、鍵山委員、宮地委員、大石委員、為近委員

(開会)

(開会挨拶：市長)

令和4年度第1回上下水道審議会ということで初めての参加ですが、勉強させていただきたいと思います。人口が減っているということで、上下水道事業の経営は厳しくなっています。ただ、しっかりと公共インフラとして支えていきたいと思っております。先日も凍結ってということで、大変でございました。飲み水本当に市民生活で一番大事なところですよ。

なかなか厳しい面もありますが私自身はしっかりといろいろな連携しながらと考えておりますので、情報提供いただければと思います。本日はよろしくお願ひいたします

(事務局)

それでは、委員の皆様並びに事務局の紹介をさせていただきます。なお、本日坂本委員は体調不良のため、欠席となりましたのでご報告いたします。

(自己紹介)

それでは順に自己紹介をお願いします。

(資料確認)

続きまして、資料の確認を行います。

事前に送付した資料1～3、本日机に置いている資料4～7  
となります。

(会長・副会長の選任)

続きまして、会長・副会長の選任に移ります。

香美市上下水道審議会条例第5条により、審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。となっています。

会長、副会長に立候補される方は挙手をお願いします。

立候補がないようですので、事務局案でよろしいでしょうか。

それでは、事務局の案として、会長に田中委員、副会長に鍵山委員を提案します。

よろしいでしょうか。

異議なし

委員の皆様から承認が得られましたので、会長に田中委員、副会長に鍵山委員よろしく

お願いいたします。

(会長挨拶)

このたび上下水道審議会会長を引く受けることになりました。田中でございます。私は土佐山田町時代に水道課職員として長年水道に携わりました。また香美市になってから、前回、前々回と上下水道審議会の委員を務めていたこともあり、経過を把握していることから、このたび会長を引き受けることになりました。なにとぞよろしくお願いいたします。

今回の審議会では、5年前に策定した経営戦略の見直しということです。委員の皆さんのご意見をお聞きしながらより良い提案をできればと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(諮問：市長)

香美市上下水道審議会会長

香美市上下水道審議会条例第2条の規定に基づき、香美市水道事業経営戦略、香美市簡易水道事業経営戦略及び香美市下水道事業経営戦略について、貴審議会の意見を求めます。

(会長)

それでは、早速ですが、次第に沿って、議題に移ります。

経営戦略の見直しについて事務局から説明をお願いします。

(事業説明)

それでは経営戦略の説明の前に経過等について簡単に説明させていただきます。上下水道事業の経営戦略は平成30年3月に策定しており、5年間に経過しました。

昨今の上下水道を取り巻く経営状況は非常に厳しく、人口減による料金収入の減少、施設の老朽化や職員不足等の問題が山積する中、広域化や官民連携など推進され、効率的な経営が求められているところです。

ご審議いただく経営戦略は、今後の水道事業・下水道事業の経営に関して計画性・実効性・安定性を持ち、市民に欠かすことのできないライフラインを持続的に守っていくため必要な計画となります。今年度から、簡易水道事業及び下水道事業にも公営企業会計を適用しております。そのこともあり今年度見直すこととしました。

下水道事業は、3事業の会計を一本化しており、経営戦略も一本化して作成しています。

資料7スケジュールをご覧ください。

策定案については、前回同様、株式会社ぎょうせいに委託し、作業を進め、内容を精査したのを見直し案として提示させていただきました。ご審議の上、内容等がよろしければ、答申をいただき、市長の承認により策定となります。承認後は、市議会へ配布、市民の皆様への公表となります。審議会は1回開催を想定しておりますが、審議内容によっては、2回目の会議を開催するようにします。

委員の皆様には、各事業の経営戦略について、疑問な点や修正箇所等があればご意見をいただきたいと考えています。

【上下水道事業の説明】

事業全体像と料金について説明

委員：前回、料金改定を行っており、議会でも審議の後に決定し、広報でも知らされておりますが、今回は人口減少等を踏まえ新たな料金改定を審議していくことになりますか。  
事務局：計画期間は10年ですので、前回の料金改定を元に今回経営戦略を作っております。新たな料金改定は盛り込んでいません。

【経営戦略水道事業説明】

概要版を説明

【経営戦略簡易水道事業説明】

概要版を説明

【経営戦略下水道事業説明】

概要版を説明

(会長)

ありがとうございました。先ほどから説明がありました。水道事業、簡易水道事業、下水道事業の説明が終わりました。ご質問やご意見があればお願いします。

委員：逆川（農業集落排水事業）の状況など厳しいですが、移住などの政策で押し進めていただければと思います。

事務局：龍河洞の交流人口が増えれば良いのですが、逆川は傾斜地が多く、宅地が限られているので人口増はなかなか見込めない状況となっています。空き家はありますが、貸すような物件は限られています。

委員：経営戦略は内容を見ると立派な戦略になっています。実施するには難しい内容もあるかと思えます。これからの課題ですが、災害です。このときにどうするかという方針がないと、戦略どおりにいかないと思います。大規模災害が起こると長期間断水になる可能性があります。いざ起こったときにどう対応するか方針を決めておかないといけません。対応について普段からの広報など市民への周知が必要だと思います。

事務局：経営戦略では地震対策を踏まえたものになっていますが、個別に地震対策として計画があり、BCP地震編を昨年策定し、下水道についても同様です。その計画に基づき対応することとしており、今後も見直しを行いさらなる対策を検討していきます。

委員：送水管配水管の地図がないと聞いていたが、水道台帳の整備をする必要があるのではないのでしょうか。

事務局：現在、GISにて水道及び下水道について管路台帳は整備されています。ただ、古い

施設は図面がないこともあり、現地と違うことはありますが、随時判明した時に修正を行っております。

委員：それは財産ですので、漏水の時はどこを閉めたら止まるととか把握できていたら良いです。

会長：以前は配管を書き込んだ地図がありましたが、今はどうですか。

事務局：以前書き込んでいた地図を元にデジタル化を行っており、現在も保管しています。

委員：地震対策等について市民や自治会への周知を行っていただきたい。

事務局：今年度は市長の事業説明で行政連絡会を通じて、送水管の耐震化計画について説明資料など配布し周知を図っています。

会長：香美市には給水車がないですが、どのように考えていますか。

委員：前回の会議では水道協会を通じて購入すると言っていました。

事務局：現在は軽トラックにオレンジタンクを載せて応急給水をしています。規模が大きいときは2tのトラックに給水タンクを載せての応急給水を行い、同時に日本水道局高知県支部に給水応援を要請して対応しています。給水車を保有すると応援要請があると応じなければなりませんので、現在は人的に対応できない状況です。室戸市、安芸市は給水車を用意しています。

委員：困ったときは自衛隊などに頼んでいますよね。

事務局：自衛隊や日本水道協会を通じて支援を要請しています。大規模災害時には関西や中国地方からの応援は可能になるかと思えます。

委員：日頃から防災会など通じて地域とのつながりを行っていく必要があります。

委員：平時から大規模災害を想定してシナリオシュミレーションを行い、市民周知を行っていかないといけないと思えます。

事務局：現在整備している送水管はダクタイル鋳鉄管のGX型で東北震災では被害0%の耐震管になります。八王子配水池には1池のみ緊急遮断弁が設置されており、震度4以上で作動します。1池分の水は確保できると考えています。

委員：下水道の接続率は70%程度ですが、今後どう普及促進を図っていきますか。

事務局：毎年度文書にて接続の依頼を行っています。新築やリフォームの時は下水道に切り替える申請があります。

委員：下水道へ接続工事を期間限定で補助するなどできないでしょうか。最初、香北町では3年間程度ありました。

事務局：現在、接続工事の補助は困難ですが、年々少しずつ増加しています。

委員：下水道の区域を除外しているところあるが、どういう理由で除けたのか。

事務局：下水道全体計画では区域を除外した地域はありません。今後、状況を見ながら全体計画の見直しを検討しています。下水道事業も独立採算制の原則があり費用対効果が得られないことと、公共水域の水質も改善されていますので、公費をさらに投入しなくても一定水質環境は良くなっているということです。

委員：今後、土佐山田町談議所の西あたりなどはどうなりますか。

事務局：談議所の西側は現在計画区域ですが、現在神母ノ木で拡張工事をおこなっていますので、その後の予定になっていますが、見直しを検討していきます。本日は経営戦略の会議ですが、次回など下水道の区域について審議していただくこととなります。

委員：10年後に人口は減りますが、次の対策はどうなりますか。値上げでの対応となりますか。

事務局：対策は値上げも一つの方法ですが、施設のダウンサイジング、維持管理の見直しなども必要と考えています。全国的な課題ですので、国政の状況も把握しながら研究したいと考えています。市民生活に水は必要ですので、採算がとれないから廃止にはできないので、現状としては、簡易水道事業は市から支援を受けていますので、引き続き支援を受けて事業を継続していくこととなります。

委員：簡易水道は水道事業に統合しませんでしたか。

事務局：統合していませんが、今後、水道事業との統合も一つの手法だと思います。簡易水道の規模が大きく、上水道で吸収できないですので、起債の有利性などあり、今の判断として統合は選択していません。

委員：飲料水供給施設は福祉政策でやるべきものだと思うので、そういった施設を水道事業で運営して良いのかと思うところです。

事務局：飲料水供給施設は、南国市や香南市では、上下水道局で実施していませんが、香美市は簡易水道事業の会計で実施しています。

委員：経営戦略と言えば上下水道事業だけの問題ではなくて、人口問題や空き家の問題なども考えていかないといけないと思います。人を増やすためには空き家など活用していかないといけないと思います。補助制度をどうやっていくのかなど対策が必要だと思います。

委員：職員体制はどうなっていますか。技術職員は何名ですか。

事務局：職員は11名で内土木職員は5名です。

#### 【上下水道を取り巻く情勢について】

委員：民間委託が進んでいますが、上下水道局が主体性をもってやってもらいたい。

委員：水道の取水施設の管理など、クボタ環境エンジニアリングが行っていると思いますが、問題なく連携してやってくれているのでしょうか。

事務局：上下水道事業をすべて直営で管理はできませんので、委託するところは継続して

行い、委託の業務内容については精査していきたいと考えています。

委員：良い時期に委託したと考えて良いでしょう。

事務局：国は官民連携を進めていますので、一定その方向に進んだということになります。

会長：行政も時代の流れに乗って委託していると思いますので、今後も精査をお願いします。

事務局：この経営戦略の内容で修正等がなければ、これでの答申をお願いいたします。

委員：特に修正点はありません。

事務局：本日の意見をまとめて添えるという形でよろしいでしょうか。

委員：そのようにお願いします。

会長：以上で終了いたします。